

平成31年

第2回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

平成31年第2回仙北市議会定例会 市政報告

平成31年第2回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、一般会計補正予算(第11号及び第12号)についてです。

第11号の補正額は、8,000万円で、追加事業は冬期交通対策費です。現計予算の除雪経費に不足が生じる見込となったため、委託料等の追加を2月8日付けで専決処分しました。さらなる予算計上が必要な場合は、定例会最終日の対応となります。ご理解をお願いします。

第12号の補正額は、1億5,019万2千円の減額で、補正後の額は、208億5,047万4千円です。主な追加事業は、生活バス路線対策費、県議会議員選挙費、介護保険特別会計繰出金、生活保護事務費、国民健康保険特別会計神代診療施設勘定繰出金、病院事業会計補助金、産地パワーアップ事業費補助金、市債償還元金などです。第2表繰越明許費補正は追加、第3表債務負担行為補正は変更、第4表地方債補正は追加、変更及び廃止です。

次に、各部局等の主要事項並びに諸般の状況をご報告します。

【総務部】

◇高齢者叙勲の叙勲受章者について

2月6日、高齢者叙勲の伝達があり、元西木村議会議員の布谷政男(ぬのや まさお)さんが、地方自治功勞により旭日単光章を受章されました。この度の受章は、永年にわたる地方自治発展のためにご尽力された功績が認められたものです。市民の皆様と共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

◇総合教育会議について

2月21日、今年度第4回総合教育会議を開催しました。

案件は、角館東地区公民館野球場の企業施設用地活用についてです。先ず経緯の報告を行い、その後は各委員から意見をいただく形式で会を進めました。多くの発言がありましたが、「これまで生涯スポーツの拠点として活用している施設であり、担当する教育委員会としては断腸の思いであるけれど、提案できる他の用地の確保が困難な現状と、雇用の確保・拡大が必要であることを理解し、現球場の利用団体から確実な了承を得た上で事業を進めること。」との結論で閉会しました。

◇和解金請求訴訟の経過について

株式会社渡辺佐文建築設計事務所との和解金請求訴訟の経過について、9回目の弁論準備手続きが昨年12月3日に行われ、裁判所から和解についての提案がありました。その後、1月23日に第10回の弁論準備手続きが行われ、次回3月5日に被告側の対応が明らかになる予定です。その結果によっては、議会の皆様のご意見を伺いながら、市としての対応を決めることとなります。

◇新角館庁舎整備関係事業の進捗について

新角館庁舎建設工事発注のため、2月4日に指名審査会を開催し、入札に関する資格要件等を決定し公告しました。

入札参加形態は「特定建設工事共同企業体」とし、共同企業体の結成形態は「3者によるもの」。資格要件は、「平成30年度秋田県建設業者等級格付名簿」で、建築一式工事、等級はA級、主たる営業所は仙北市、大仙市、仙北郡内としています。

入札は電子入札で、入札参加資格確認申請書の提出期間は2月4日から3月4日まで、入札書の提出期間は3月5日から7日まで、開札は7日午後3時10分、落札決定通知は11日の予定となっています。

◇地方創生推進交付金事業について

温泉×健康によるヘルスケア推進事業では、市内のエリアごとにウォ

ーキングコースを設定し、温泉と食事なども組み合わせて紹介する小冊子、「温(お)さんぽMAP」を作成しました。この後全戸配付します。

農業I o T・水素利用による産業創造事業では、農業I o T 関連の説明会を「稼ぐ農業経営を考える会」と題し行っています。説明会の中では、市内3か所で実施中のセンサーを活用した実証実験の経過報告も行い、3月8日は角館地区で開催します。

水素利用関係では、仙北市新地域エネルギービジョンの改定作業を進めています。地域特性を活かした資源別エネルギーの賦存量や利用可能量の推計を見直し、重点的に取り組むプロジェクトには従来の再生可能エネルギーに加え、水素エネルギーの活用を盛り込みます。

明日26日は、水素エネルギーの利活用について、デモンストレーションなどを行う予定です。皆様のご参加をお願いします。

◇国家戦略特区関連事業について

内閣府と仙北市による特区推進共同事務局の設置は、2月27日、仙北市総合戦略アドバイザーの岸博幸(きし ひろゆき)さんを事務局長に迎え、仙北市特区推進共同事務局の開所式を田沢湖庁舎で開催します。

共同事務局で行う事業は、仙北市の固有資源を活用した地方創生事業の様々な展開や、先ごろ覚書を締結したMONET Technologies(モネテクノロジーズ)株式会社(ソフトバンク株式会社とトヨタ自動車株式会社の共同出資会社)との、次世代運行サービスに係る施策等の推進などです。ほかにも、国と共に様々な分野で地域の課題解決を目指します。

◇市税等の滞納繰越分収納率について

1月末現在の市税等の滞納繰越分収納率は、前年同月比で普通税が12.4%増の18.8%、収入額で2,682万6千円の増、国民健康保険税が12.6%増の28.5%、収入額で1,779万円の増、後期高齢者医療保険料が7.3%増の30.2%、収入額で9千円の増です。

また、コンビニ収納実績は、1月末での納付件数が17,810件、納付

金額が2億432万8千円、うち電子マネー決済が74件で102万6千円です。クレジットカード納付実績は、納付件数が126件、納付金額が227万2千円です。引き続き収納率の向上に全力で取り組みます。

【市民福祉部】

◇仙北市自殺対策計画について

平成28年3月の自殺対策基本法改正により、地域自殺対策計画の策定が全ての市区町村に義務づけられました。市内外の関係機関や団体等の代表者24人を委員に委嘱し、これまで2回の自殺対策計画策定委員会を開催し、多くの意見や提案をいただきました。さらに、パブリックコメントを実施し、今年度内の計画完成を目指します。

◇にしき園通所リハビリテーションの運営について

慢性化している介護職員の人手不足や、単年度ベースでは赤字経営が続いていることから、赤字幅の大きい通所リハビリテーション事業を平成31年4月から1年間休止することにしていきます。通所リハビリテーション事業の再開、特別養護老人ホームへの移行並びに民営化については、来年度にしき園運営協議会(仮称)を設置し、方針を検討します。

【観光商工部】

◇冬季観光イベント等の開催について

岩橋家を会場に「角館の冬がたり」を開催中です。3月末まで毎週金曜・土曜・日曜・祝日の1日2回開催で、来場者から好評を得ています。

2月10日は、「上桧木内の紙風船上げ」が開催されました。3連休の中日ということもあり、昨年を大きく上回る11,000人(昨年8,000人)の来場がありました。駐車場等の課題はあるものの、国内外からの観光客に幻想的な雰囲気を楽しんでもらうことができました。

2月13日と14日の両日は、角館町の小正月行事「火振りかまくら」でした。こちらも昨年を上回る5,500人(昨年5,000人)の来場をいただきました。なお、これまで観光行事として実施していた13日の開催は今

年が最後で、来年から各町内で行う14日のみの開催となる予定です。

また、2月16日と17日の両日は、たざわ湖スキー場内で「田沢湖高原雪まつり」が開催されました。雪像が作られた会場で、汁腕グランプリ、花火大会、ステージパフォーマンス等が行われ、昨年を上回る15,000人（昨年13,000人）が各イベントを楽しみました。

各行事とも天候に恵まれた中、訪日外国人観光客の来場が目立ちました。

このほか、「白岩城址燈火祭」、「松葉・相内の裸参り」、「中里の CANDY あげ」、「なろか」などの地域行事も行われました。

◇「山の楽市」開催について

1月12日から14日までの3日間、横浜市の相模鉄道三ツ境駅隣接の商業施設三ツ境ライフで、観光と物産展「山の楽市」が開催されました。

11事業者が出店し、首都圏在住のふるさとサポーターの皆様のご協力で、あきたこまちをはじめ、直送した仙北市の味覚の数々を販売できました。売上額は、売り場面積の減少で4事業者が減ったことなどが要因となり、減少となりました。改善が必要だと感じています。

相模鉄道株式会社をはじめ、グループ各社の格別なご支援には、深く感謝を申し上げます。

◇雇用状況について

昨年12月のハローワーク角館管内の有効求人倍率は、前月比0.11ポイント、前年比0.08ポイント増の1.74倍で、秋田県平均の1.54倍を上回っている状況です。

平成31年3月卒業予定の高校生に対するハローワーク大曲（ハローワーク角館含む）の求人受理状況は、昨年12月末現在で206事業所592人です。前年同期の98事業所543人を上回る状況にあり、これは積極的に新規採用を検討している事業所が増えた証で、明るい兆しと受け止めています。

大曲仙北地域の高校生の昨年12月末の県内就職内定状況は、就職

希望者が232人に対し216人で、内定率は94.9%、前年同期と比較して就職希望者が28人、就職内定者が30人と減少しています。この減少は、前年同期卒業生数で35人、就職希望者で49人の減少が要因と考えています。

地域産業の活性化のためにも一人でも多くの若者が地元就職していただけることを期待しています。

◇仙北市技能功労者表彰について

2月12日、優秀な技能者を表彰する第1回の仙北市技能功労者表彰を行い、6分野6人の方々を表彰しました。この制度は、技能者の社会的・経済的地位及び技術水準の向上を図り、本市産業の発展に資することを目的に創設したものです。今後もそれぞれの分野において中核的な役割を担い、後継者育成にもご尽力いただくことを期待しています。

◇第1回仙北地域クラウド交流会について

2月6日、起業家を応援し地域の活性化を目指す仙北地域クラウド交流会を開催しました。起業家が事業計画を説明し、参加者からのクラウドファンディングを投票形式で募る仕組みで、秋田県内では初開催です。市内で整骨院やカフェ等を開業した5人が、起業までの経緯や事業内容、将来構想などをアピールし、参加者が応援したいと思った起業家に投票し、田沢湖地区で旅行業を営む小田島広仁(おだしま ひろひと)さんが優勝者となりました。

【農林部】

◇農山村地域を訪れる訪日外国人の増加について

農家民宿を始めとするグリーンツーリズムの宿への宿泊者数が増加しています。平成30年の宿泊者数は2,130人と前年の1,808人を大きく上回り、平成28年と比較して2倍の実績です。主体団体の仙北市農山村体験推進協議会は、地域限定の旅行業を取得し、昨年12月25日に一般社団法人として新たにスタートをきりました。既にオーストラリアやタ

イの旅行会社から現地手配業務の依頼も受けるなど、好調な滑り出しです。

【建設部】

◇市道除雪の状況について

今期は12月中旬以降からの降雪で、除雪シーズンとしては昨年より約2週間ほど遅くなりました。しかし、年末からの降雪は昨年と同等の降雪量を記録し、現時点での除雪出動日数も昨年並みとなっています。

今期は、初雪が遅かったことから累加降雪量は昨年の約80%と見込んでいます。今後も降雪状況を注視し、市民生活の利便性を損なわないよう、除排雪対応に取り組めます。

◇角館町西長野地区の水道について

使用水量の増加及び既設水源井戸の取水量の低下傾向、さらに老朽管の漏水が重なり、西長野配水池の水位が急激に減少する事態が2回発生しています。市は緊急に角館浄水場から給水車3台で西長野浄水場へ水を運搬し、また、専門業者による漏水調査を実施しました。調査の結果、2か所の漏水を修理し、1月17日に事態を収束しています。埋設管の老朽対策は、今後の大きな課題と認識しています。